

病害虫情報 NO.5

ハクサイ、キャベツ、ダイコンなどアブラナ科野菜の害虫

ハイマダラノメイガ（ダイコンシンクイムシ）の発生が多くなると予想されます。発生初期に防除しましょう！

[現在の状況]

- ① 岩間町で調査を実施している誘致植物（クレオメ^{*}）において、8月に入りハイマダラノメイガ幼虫の寄生株率が増加し、8月第5半旬の調査で90%に達した。昨年と比較して発生時期はやや早く、発生量はやや多い。（図1）。
^{*}クレオメ：フウチョウソウ科の草花で、ハイマダラノメイガが好んで寄生する植物
- ② 那珂市のキャベツにおいて、8月第5半旬の調査で幼虫の寄生が確認されている。
- ③ 気象予報（8月19日発表）によると、向こう1か月の気温は平年より高いと予想され、発生を助長する条件である。

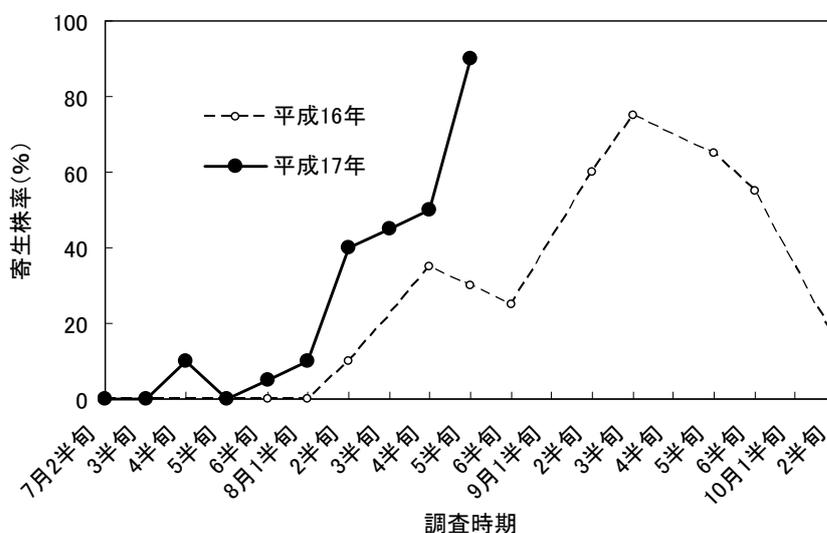


図1 クレオメにおけるハイマダラノメイガ幼虫の寄生株率の推移（岩間町）

[防除対策]

- ① 本虫は、アブラナ科野菜の育苗期や本圃の初期に、幼虫が生長点付近を加害する。加害がひどいと芯止まりになるので、早期発見、早期防除に努める（防除薬剤は表1を参照）。
- ② 今後、9月中旬にかけて発生量がさらに増加すると予想されることから、この時期に育苗や定植を行うアブラナ科野菜は特に注意が必要である。
- ③ 苗床は、防虫ネットなどで覆い、成虫の侵入を防ぐ。
- ④ 薬剤の使用にあたっては、農薬使用基準を遵守する。

表1 ハイマダラノメイガに登録のある主な薬剤（平成17年8月25日現在）

系統名	薬剤名 (有効成分名)	作物名					
		ハクサイ	ダイコン	キャベツ	カリフラワー	ブロッコリー	カブ
有機リン剤	エルサン乳剤 (PAP)	○	○	○	○	○	○
	ディプロテックス乳剤 (DEP)	○	○	○	○		○
	DDVP 乳剤 75 (DDVP)	○	○	○	○	○	○
BT 剤	エスマルク DF (BT)			○			○
IGR 剤	マッチ乳剤 (ルフェスロン)			○			
	マトリックフロアブル (クロマフェノジト)		○	○			
その他	アフーム乳剤 (エマメチン安息香酸塩)			○			
	スピノエース顆粒水和剤 (スピノサト)	○		○			
	トルネードフロアブル (インドキサカルブ MP)			○			
	ハチハチ乳剤 (トルフェンピラト)	○	○	○			
	プリンスフロアブル (フィプロニル)	○		○			

※農薬を使用する際は、農薬ラベルに記載の使用方法，注意事項等を確認のうえ使用する。